

(講座) 臨床薬学
(氏名) 中嶋弥穂子

(研究室) 医療情報解析学
(職名) 助手

【研究テーマ】

1. ストレス後障害 (不安およびうつ) に関する臨床薬学的研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. K. Ohyama, M. Wada, G. A. Lord, M. N. Nakashima, K. Nakashima, S. Akiyama, C. K. Lim and N. Kuroda: Capillary electrochromatography of caffeine and its metabolites in rat brain microdialysate, *Electrophoresis*, **26**, 812-817 (2005). (IF: 3.743)
2. M. Wada, S. Nakamura, M. Tomita, M. N. Nakashima and K. Nakashima: Determination of MDMA and MDA in rat urine by semi-micro column HPLC-fluorescence detection with DBD-F and their monitoring after MDMA administration to rat, *Luminescence*, **20**, 210-215 (2005). (IF: 1.297)

(A-b) 総説

1. M. N. Nakashima, M. Wada and K. Nakashima: Microdialysis as an excellent sampling approach for biomedical analysis, *Curr. Pharm. Anal.*, **1**, 127-133 (2005). (2005 創刊のため IF なし)

(A-d) 紀要

1. K. Nakashima, Y. Ogata, M. N. Nakashima and M. Wada: HPLC with fluorescence detection of morphine in rat plasma using 4-(4,5-diphenyl-1H-imidazol-2-yl)benzoyl chloride as a label, *Bioluminescence & Chemiluminescence Progress and Perspectives*, 257-260 (2005).
2. M. Wada, M. Katoh, H. Kido, M. N. Nakashima, N. Kuroda and K. Nakashima: Development of FIA-chemiluminescence methods to evaluate quenching effects against reactive oxygen species, *Bioluminescence & Chemiluminescence Progress and Perspectives*, 355-358 (2005).

B 邦文

(B-a) 原著論文

1. 中村晃子, 中嶋弥穂子, 和田光弘, 中島憲一郎: ヒト血中の3種のオキシカム系非ステロイド性抗炎症薬のセミマイクロカラム高速液体クロマトグラフィー, *分析化学*, **54**, 755-760 (2005).
2. 中村晃子, 宮崎長一郎, 宮崎理恵, 中嶋弥穂子, 和田光弘, 中島憲一郎: スタチン系薬剤服用患者における併用薬の処方状況調査, *九州薬学会会報*, **59**, 59-64 (2005).

(B-d) 紀要

1. 中嶋弥穂子：マイクロダイアリシス法のヒトへの適用：脂肪細胞の謎を探る，*ファルマシア*, 41, 63-64 (2005).
2. 和田光弘, 植木理恵, 富松規子, 一瀬沙織, 中嶋弥穂子, 高村 昇, 青柳 潔, 中島憲一郎：蛍光ラベル化試薬 SBD-F を用いる血漿中ホモシステインのセミマイクロカラム HPLC-蛍光定量, *日本臨床化学会九州支部会誌*, 15, 30-31 (2005).

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. K. Nakashima, S. Nakamura, M. Tomita, M. N. Nakashima, M. Wada, N. Kuroda and Heesun Chung: Analysis of MDMA and MDA in abusers' hair samples by semi-micro-column HPLC with fluorescence detection, The International Association of Forensic Toxicologists (TIAFT) 43rd International Meeting, Seoul, Korea, August 29-September 2 (2005).
2. S. Nakamura, T. Kido, M. Tomita, M. N. Nakashima, M. Wada, N. Kuroda and K. Nakashima: Preliminary studies on the development of a simultaneous determination method of several designer drugs by HPLC with fluorescence detection, The International Association of Forensic Toxicologists (TIAFT) 43rd International Meetings, Seoul, Korea, August 29-September 2 (2005).

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 米元治朗, 中嶋弥穂子, 和田光弘, 中島憲一郎：タキサン系抗がん剤の使用状況と他の抗がん剤との併用状況について, 第4回九州山口薬学会ファーマシューティカルシンポジウム, 福岡 (2005).
2. 中島憲一郎, 加藤正之, 和田光弘, 城戸浩胤, 中嶋弥穂子, 黒田直敬：FIA-ルミノール化学発光法によるぶどう種子抽出物の活性酸素種消去能の迅速評価, 日本薬学会第125年会, 東京 (2005).
3. 中村晃子, 中嶋弥穂子, 和田光弘, 中島憲一郎：ロルノキシカムおよび塩酸ドネペジルにおける薬物相互作用に関する薬物動態学的研究, 日本薬学会第125年会, 東京 (2005).
4. 松村有季, 中嶋弥穂子, 和田光弘, 牧野由紀子, 花尻瑠理, 中島憲一郎：ピペラジン系新規デザイナードラッグの HPLC-FL 定量法の開発, 日本薬学会第125年会, 東京 (2005).
5. 中村美恵子, 中嶋弥穂子, 和田光弘, 中島憲一郎：Pioglitazone 服用と臨床検査値の関連性に関する meta-analysis, 日本薬学会第125年会, 東京 (2005).
6. 城戸秀昭, 本村泰嗣, 中嶋弥穂子, 和田光弘, 中島憲一郎：筑後市立病院における抗がん剤の使用状況調査, 日本薬学会第125年会, 東京 (2005).
7. 和田光弘, 植木理恵, 富松規子, 一瀬沙織, 中嶋弥穂子, 高村 昇, 青柳 潔, 中島

憲一郎：蛍光ラベル化試薬 SBD-F を用いる血漿中ホモシステインのセミマイクロカラム HPLC-蛍光定量，第 15 回日本臨床化学会 九州支部総会，福岡（2005）。

8. 加藤正之，和田光弘，城戸浩胤，中嶋弥穂子，黒田直敬，中島憲一郎：FIA-ルミノール化学発光法によるぶどう種子抽出物の抗酸化能，第 42 回長崎県総合公衆衛生研究会，長崎（2005）。
9. 横田千明，小方康弘，中嶋弥穂子，和田光弘，黒田直敬，中島憲一郎：ラット血液微小透析液中の遊離型モルヒネの HPLC-FL 計測と薬物相互作用の検討，第 12 回クロマトグラフィーシンポジウム，福岡（2005）。
10. 中村美恵子，中嶋弥穂子，和田光弘，中島憲一郎：Pioglitazone 服用と臨床検査値の関連性に関する meta-analysis，第 68 回九州山口薬学大会，長崎（2005）。
11. 城戸秀昭，本村泰嗣，中嶋弥穂子，和田光弘，中島憲一郎：筑後市立病院における抗がん剤の使用状況とその評価，第 68 回九州山口薬学大会，長崎（2005）。
12. 曾根本恵美，中嶋弥穂子，和田光弘，中島憲一郎：アルツハイマー病治療薬塩酸ドネペジルと非ステロイド系抗炎症薬の相互作用に関する研究，第 18 回バイオメディカル分析科学シンポジウム，静岡（2005）。
13. 永野みのり，宮崎長一郎，宮崎理恵，山田志穂，中嶋弥穂子，和田光弘，中島憲一郎：保険薬局における睡眠薬の使用状況調査，第 15 回日本医療薬学会年会，岡山（2005）。
14. 中島憲一郎，城戸 司，中村心一，富田 守，中嶋弥穂子，和田光弘，黒田直敬：数種のデザイナードラッグの HPLC-蛍光検出による一成分分析法の検討，日本法中毒学会第 24 年会，福岡（2005）。
15. 中村心一，富田 守，中嶋弥穂子，和田光弘，黒田直敬，Heesun Chung，中島憲一郎：HPLC-蛍光検出を利用する MDMA 及び MDA 乱用被疑者の毛髪分析，日本法中毒学会第 24 年会，福岡（2005）。
16. 中村心一，富田 守，中嶋弥穂子，和田光弘，原田士郎，黒田直敬，中島憲一郎：乱用薬物の HPLC-過シュウ酸エステル化学発光検出への CPP0 の適用性の検討，生物発光化学発光研究会第 23 回学術講演会，岡山（2005）。
17. 横田千明，中嶋弥穂子，和田光弘，黒田直敬，中島憲一郎：ラット脳及び血液微小透析液中の遊離型モルヒネの HPLC-FL 計測と薬物相互作用の検討，第 16 回クロマトグラフィー科学会議，岐阜（2005）。
18. 米元浩朗，中嶋弥穂子，和田光弘，中島憲一郎：Paclitaxel および Verapamil の HPLC 同時定量，第 16 回クロマトグラフィー科学会議，岐阜（2005）。
19. 富田 守，中嶋弥穂子，和田光弘，中島憲一郎：マイクロダイアリシスを併用した，ラット血液及び脳内 MDMA 及び MDA の HPLC 蛍光分析，第 16 回クロマトグラフィー科学会議，岐阜（2005）。
20. 濱田光洋，中嶋弥穂子，和田光弘，中島憲一郎：小児科領域におけるテオフィリン製剤の使用状況調査と適正使用に関する考察，第 22 回日本薬学会九州支部大会，福岡（2005）。
21. 中村美恵子，中嶋弥穂子，和田光弘，中島憲一郎：臨床検査値に及ぼす pioglitazone の影響，第 22 回日本薬学会九州支部大会，福岡（2005）。

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	33 編	(邦文)	10 編
総説 (欧文)	1 編	(邦文)	0 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
紀要 (欧文)	4 編	(邦文)	10 編
特許	0 件		